

令和2年度 第4回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年2月15日(月)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

議題

1. ACPの理念について(資料1) 進行: 部会長

1～4で良いでしょうか。

- ・ シンプルな方が伝わる
- ・ これで良いと思います
- ・ この4点でシンプル
- ・ しっくり来て良い
- ・ 1と2が似ている・・・
- ・ その人らしく生きることを原点は全市民なのか? 活動の広さを感じた
- ・ 価値観を大切にすることを一番に持ってきた方が良い気がする
- ・ これで良い、始める前に唱和したいくらい
- ・ 理念のためひとつが良いのかと思う

理念を「私たちは市民がその人らしく生きることを専門職としての矜持を持ち、共に考え、共に悩み、共に実践します」として、活動方針として、2番や4番を挙げてはどうか

- ・ これで良い 部会長

皆さんの意見をまとめ、以下のようにしてはどうか

私たちは 市民がその人らしく生きることを活動の原点とします。

私たちは その人の価値観を大切にします。

私たちは 専門職としての矜持を持ち、共に考え、共に悩み、共に実践します。

私たちは その人の気持ちの揺れに寄り添い、何度でも話し合います。

2. ACP作業部会の計画について(資料2)

マニュアルと作りと情報ツールと2本立てと説明をしてきたが、マニュアルの中に情報ツールを盛り込んだ方が整合性があり、良いのではないかということになった。作業部会では、マニュアル1本で担当を分担していく予定。

杉浦部会長より、総論について説明

安城市のACPとしては、人生会議を開催することのみではなく、日頃、専門職の方が療養者・患者と関わる中からその人らしさというピースを集め、組み合わせていく

ことを大切にしていけたらと思っている。

事務局より

資料2の安城市の現状について説明

これらの実状を踏まえてマニュアルの各論に盛り込む内容を検討していきましょう

マニュアルは総論、各論、Q&Aの構成で進めていく

<各論に盛り込む内容について検討>

資料2の事務局が出した意見について、追加修正について意見を問う

- ・ 日々の生活支援の中から本人の意思を知ろう
- ・ 見直すタイミングがあるといい
- ・ 実際にスタッフレベルに下した時に情報がわからない、価値観など何を集めたらよいかかわからない、情報量が多いとそれのまとめ方も掲載したほうが良い
- ・ 倫理的な問題もあってもよい
- ・ 現場で思うのは家族間の調整ができていない、ふり幅が大きくて困ることが多い
- ・ 独居の方の場合など担当者会議で話した内容をどう扱っていったらよいか？救急の場面でケアマネがそれを伝えても良いのか。家族、本人、ケアマネで話合ったということなどが書かれた事前指示のようなものがあると良い
- ・ 専門職にとって、ACPが必要な理由⇒総論
- ・ 病院の人に知っておいてほしいことなども良いかも？
- ・ 未告知でも本人の価値観がわからないでもないが、告知するともってきけるのではないかと思うこともある⇒状況別かな？
- ・ 状況別：未告知の場合、独居の場合、
- ・ 「記録を残す」ことがどういう意味を持って、法的意味を持つのか
事前指示などの違いを表しておいた方がよいのではないだろうか
意思決定などの情報となるのが、ACPになるため総論で述べていこう
- ・ がん末期の利用者に関わった。緩和ケア病棟に入院し、最期は自宅で看取る方向になったが、間に合わず病院で亡くなってしまった。もう少し、早くから踏み込んで、聞いていたら、と思うと悔やまれる。思い切って背中を押してくれるような内容だといいと思う。
- ・ 困った時の相談先
- ・ どういうことを学べが良いか・若いスタッフが参考にできる
研修会の案内、もしばなゲームなど
- ・ 施設は介護士が生活の面を支えている。意思確認のどんな質問があるのか具体的な質問なぜそれを聞くのか、タイミングは看取り時、病状変化時だけでなく、日頃から不安なことが聞かれた時、家族から質問があった時なども入れほしい
- ・ 市民啓発についても網羅できると良い
- ・ 家族と専門職の時間軸が違う気がする

・ 柏市の「逝去後の支援」とあるが、家族に寄り添うことも入れたい⇒家族ケア
等々意見がでた

事務連絡

- ・ 広報あんじょうについて 3月広報に掲載されます（回覧）
- ・ 来年度の日程について（資料3）

次回 第4回ACP作業部会 令和3年2月15日（月）14時 安城市医師会館

